

### 第36回新潟県高等学校総合文化祭弁論部門

#### 第31回新潟県高等学校弁論大会 第69回文部科学大臣旗全国高等学校弁論大会新潟県予選会 実施要項

- 1 趣 旨 ① 弁論を通じて広く社会に目を向け、知識と教養の深化をはかる。  
② 弁論を発表することによって、豊かな語彙と表現力をそだてる。  
③ 弁論発表の場に参加することによって、参加者同士の相互理解と親睦を深める。
- 2 期 日 令和4年11月8日(火) 9:00~16:00(予定)
- 3 会 場 三条市体育文化会館 マルチホール 新潟県三条市荒町2-1-3 TEL 0256-36-0700
- 4 主 催 新潟県高等学校文化連盟  
共 催(予定) 新潟県教育委員会・三条市教育委員会 後 援 新潟日报社 他
- 5 参加資格及び人数 新潟県高等学校文化連盟加盟校の高校相当学年に在学中の生徒であること。学校ごとの人数制限はないが、申込総数が20名を超える場合は、申込人数の多い学校と相談することもある。
- 6 規 定 ① 演 題 自由。ただし、未発表のもの。  
② 制限時間 6分以上7分以内(原稿用紙400字詰5枚程度)。鈴は6分で1鈴、7分で2鈴とする。  
③ 審 査 各審査員が弁士1人につき論旨60点、表現40点の合計100点満点で審査する。その後、全審査員の合計点を基本に、審査員の話し合いで順位を決める。  
④ 審査の観点(目安)  
論旨 1 主題に対する問題意識が明確で、自己の世界にとどまらない広がりがある。(60点)  
2 構成は分かりやすく筋が通っている。  
3 材料は具体的で豊富であり、適切に生かされている。  
4 新鮮な観点と独創的な発想がある。  
5 分かりやすく論旨に適した言葉を使い、結論は明快で、説得力がある。  
6 演題が論旨をよく表現している。  
表現 1 熱意を持ち、謙虚で誠実な態度である。(40点)  
2 声量、強弱、速さ、間の置き方は適切である。  
3 表現が自然であり、聴衆一人一人に訴える姿勢がある。  
4 聴衆を引きつけ、聴衆とともに深い感銘を共有した。  
⑤ 時間減点 6分未満、また7分超過30秒ごとに平均点から1点減点。  
⑥ 発表形式 感染症対策を行ったうえ、マイク使用とする。  
⑦ 弁論の範囲を超えるおそれのある表現方法を用いる場合は、事前に事務局に相談する。
- 7 発表順 大会当日に、弁士による抽選によって決定する。
- 8 審査員 秋山正道氏(新潟産業大学元教授) 石原亜矢子氏(新潟日报社報道部文化担当総括デスク)  
岡田花菜子氏(フリーアナウンサー) 他1名を予定
- 9 表 彰 最優秀賞1名 優秀賞2名 優良賞2名 奨励賞若干名 他に審査員特別賞を授与する場合がある。
- 10 全国大会への推薦 最優秀賞受賞者と、優秀賞受賞者のうち1名は、令和5年8月1日~8月3日に鹿児島県で開催される第47回全国高等学校総合文化祭弁論部門(第69回文部科学大臣旗全国高等学校弁論大会)出場者として推薦する。ただし、全日制の3年生と定時制及び通信制の4年生の推薦はできない。また、同一校から2名の推薦はできない。
- 11 参加料 無料
- 12 参加申込 県内高文連加盟校に送付(本文書にも添付)の「参加申込み」に必要事項を記入の上、学校単位で連絡先(事務局)あてに10月20日(木)必着で申し込むこと(FAX可)。申込み後の弁士及び演題の変更は、認めない。また、原稿の写しを11月2日(水)までに事務局宛てに送付(または送信)すること。(書式等は申し込み確認後に連絡します)
- 13 その他 プログラムは、10月27日(木)以降に送付(または送信)する。平成17年4月1日からの「個人情報の保護に関する法律」の施行と、それに伴う全国高等学校文化連盟からの通知を受け、新潟県高等学校文化連盟は、個人情報(肖像も含む)を公開する場合は、あらかじめ本人にその旨を知らせ、公開に異議のないことを確認することにしました。本大会のプログラム等への氏名等の掲載を拒否する場合には、申込時に事務局に連絡してください。
- 14 連絡先 〒959-1322 加茂市学校町16番18号 加茂暁星高等学校内  
新潟県高等学校文化連盟弁論専門部事務局 長井 拓 TEL 0256-52-2000 FAX 0256-52-2003